

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	T-REX	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：T-REX

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：PANTHER

フレアーの幅 インチ

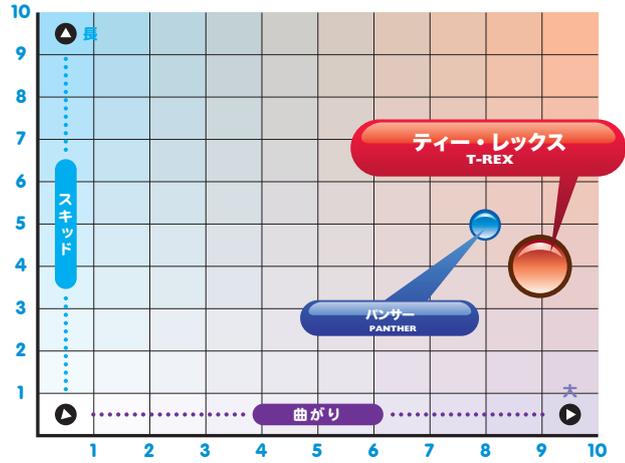
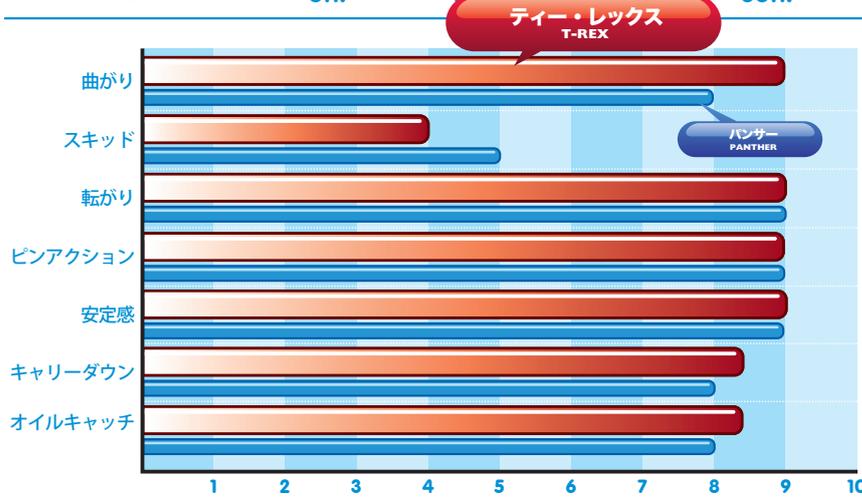
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

NATURAL ENEMIESで幅広く開発が進められているHybrid CoverStockとPearl Coverstock。今までSolid Coverstock中心だったコンセプトから新たなTechnologyが追加投入されることで、ここからパフォーマンスは一気に激変していきます。今までなぜSolid Coverstockに着目していたかということ、Solid素材こそがオイルに強いボールとこだわりを持っていたからです。しかし新たなTechnologyが加わることで、HybridやPearl素材でも十分オイルに強く、しかもBackendまで動きが持続するどころか、動きの強さまで増すことができることが腑に落ちたからです。そこからNATURAL ENEMIESはMediumコンディション用にPearl素材のKILLER SHARK IIを発売しましたが、見事に今までのPearl素材の強さを越えた、Medium領域でも上位のキャッチと低架橋密度ならではのピンアクションを実現できています。今回のT-REXはHybrid CoverStockを用い、Hybridならではの特性を生かしたキャッチとBackendの動き、ピンアクションまでを演出します。主原料は新たなTechnologyを加えたLCD(Low Crosslink Density/低架橋密度)Hybrid CoverStockとModified 3M Core(CEH)で構成されています。投球したイメージはかなり手前からトルクを感じるキャッチを感じるのが第一印象で、今までのNATURAL ENEMIESシリーズの中でHybrid CoverStockながら最大の強さをもつスペックとして仕上げました。PANTHER同様、フレキシブルなカバーストック素材に3つの比重を持つコアを組み合わせで柔軟なCoverstockがもつ粘り強いキャッチとHybridならではのBackendの動きを重要視した「キャッチと動きの強さ」を前面にだしたボールです。また衝撃を吸収するインナーシェル素材を使用する事でストライク確率を上げる事が出来ます。

特記事項

新開発のLCD(Low Crosslink Density/低架橋密度)Hybrid CoverStockでオイルに対しての強さを最大限求めました。フレキシブルな素材に衝撃を吸収するインナーシェル。このボールに死角はありません。